

学校教育目標 「夢に向かって がんばる」

かしこい子 <知>

学力、判断力、決断力
問題解決能力、自己決定力

心ゆたかな子 <徳>

思いやり、優しさ、感謝の心
協調性、受容性、和やかな心

たくましい子 <体>

肉体的にも精神的にもたくましい、健やかな体

めざす児童の姿 - ゆたかな心を持ち、主体的でより良い自分や社会を築くことができる児童 -
めざす教職員の姿 - 児童をかけがえのない存在として心から向き合うことができる教職員 -
めざす学校の姿 - 安全安心のもと、児童にとって夢や希望が満ち溢れ、活気ある学校 -

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・学習したことや体験したことを生かし、目の前にある課題を主体的に解決することができる
- ・相手の考えに耳を傾け、多様な考えを取り入れながら自分の考えをよりよくする
- ・同じ視点で考え、話し合い、子供たち同士で学びを深め合うことができる

何が身に付いたか

○学習評価を通した学習指導の改善

- ・これまでの学習や体験を生かして、主体的に解決の方法を見出している
- ・自分の考えと比べながら、相手の意見をよく聞き、よりよい方法や新たな考えを創り出している
- ・同じ視点で考え、子供たち同士での「伝え合い」「教え合い」により、学びを深めている

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導 ・スクールカウンセラー、学習サポーター、学習ボランティア等と連携
- ・一人一人の教育的ニーズの把握・支援
- チームで対応 ・職員間の情報共有および外部機関との連携により、チームで支援

二和っ子の実態

- ・明るく素直で、のびのびとした児童が多い。 ・互いのよさを認め、あたたかい仲間作りができる児童が多い。

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・教育活動全体で「聞いて、考えて、伝え合う」活動
- ・聞く力、話す力、読む力、書く力、計算力の育成
- ・視覚化、焦点化、共有化の視点から、ICT機器の活用を取り入れたわかりやすい授業づくり
- ・家庭と連携した学習習慣の確立

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・「聞き上手」な子供たちを育てることで、「話したい子」を増やす学習スタイル
- ・自分の考えの足あとがわかる「ノートづくり」
- ・全教科において「単元を通してつきたい力」の明確化を図る

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校研究及び校内研修の充実 ○いじめ等に対する迅速かつ適切な対応に努め、一人一人を大切にする
- 学校目標を核とした温かな学年、学級経営 ○教育相談活動の充実（いつでも教育相談）○スクールカウンセラーと連携した児童理解への姿勢 ○PTA活動を通しての児童育成 ○学校・行政・地域コミュニティー間の相互の積極的な情報交換・連携活動
- 「二和スタンダード」を通じた共通理解

安心・安全を守る

- ・毎日の声掛けで、安全に対する意識の向上を図る
- ・避難訓練を通して、自分の命を守る意識を育てる
- ・PTAと連携した「登下校指導」の充実

開かれた学校づくり

- ・地域の教育力の活用（出前授業など）
- ・学校だよりやホームページによる積極的な情報発信